

1月臨時会、3月定例会・議案など	2～3
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
新議員の紹介	8
委員会等活動報告	8

令和4年1月15日から令和4年4月13日までの出来事を掲載しました。



弘前市立病院は、昭和46年に開設して以来、市民の健康を守る中核的な病院として診療を続けてきましたが、津軽地域保健医療圏における医療提供体制の再構築のため、国立病院機構弘前病院との再編により、令和4年3月31日をもって、閉院しました。この写真は、竣工時（昭和46年）の弘前市立病院です。（旧市立病院提供）

議 会 ト ピ ッ ク ス

ロシアによるウクライナ侵攻に 抗議する決議案を可決

令和4年第1回定例会5日目、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議案が議員発議として提出され、採決の結果、全会一致で可決されました。

去る2月24日、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、ウクライナ全土における軍事攻撃により一般市民を含む多数の死傷者を出しました。今回の侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく脅かすもので、明らかな国連憲章への重大な違反行為であり、あらゆる国の核兵器の廃絶と世界の平和の実現を願う「平和都市に関する決議」を議決している本市議会として、ロシア軍の即時の攻撃停止と完全撤退を、また、政府へは、国際社会と緊密に連携した厳格な対応を強く求める内容の決議となっています。

令和4年第1回定例会から 完全ペーパーレス化



左が議案等の紙資料。
データ化し右のタブレットで使用

弘前市議会では、令和3年第1回定例会からタブレット端末を導入し、議案等について紙資料と併用してきましたが、令和4年第1回定例会からは本格運用を開始し、資料等の完全ペーパーレス化により、会議の効率化や紙資料の削減に取り組みました。

令和4年第1回臨時会

市長提出議案 3件

【会期：令和4年1月28日(金)】

1月補正後の令和3年度予算

一般会計 907億2515万4千円
 (1月補正額 30億8046万5千円)
 特別会計 419億541万5千円
 (1月補正額 0円)

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第16号)

今冬の原油価格高騰対策の一環として、住民税非課税世帯に対し冬季間の暖房費など生活に係る費用を臨時的に支援するための経費を計上するほか、当該経費に係る繰越明許費を補正するものです。
補正額 2億5300万円

令和3年度の除排雪経費の最終見込額は、令和4年3月24日時点の速報値で、約19.2億円となりました。

●事件処分の報告及び承認について(事件処分第1号)

【令和3年度弘前市一般会計補正予算(第15号)】

今冬の降雪に伴う除排雪経費を追加することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

【事件処分年月日：令和4年1月11日】 **補正額 4億円**

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第17号)

まん延防止等重点措置に伴う営業時間短縮等の要請に応じた飲食店等に対する協力金給付に係る経費を計上するほか、今冬の降雪に伴う除排雪経費を追加するものです。

また、飲食店等営業時間短縮要請協力金給付事業に係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 24億2746万5千円

主な補正内容	事業費(千円)
飲食店等営業時間短縮要請協力金給付事業	2,127,465 ※1

令和4年第1回定例会

市長提出議案 64件

【会期：令和4年2月18日(金)～3月17日(木)】

3月補正後の令和3年度予算

一般会計 948億789万9千円
 (3月補正額 40億8274万5千円)
 特別会計 424億285万6千円
 (3月補正額 4億9744万1千円)

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第18号)

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、事業者に対するひろさき事業復活支援金及び小口資金特別保証融資制度利子補給補助金などを計上するほか、ふるさと納税寄附金の増額見込に伴い、返礼品等に係る経費などを追加するものです。

また、ひろさき事業復活支援金給付事業などに係る繰越明許費、小口資金特別保証融資制度利子補給補助金に係る債務負担行為の補正をするものです。

補正額 9億4234万2千円

主な補正内容	事業費(千円)
ひろさき事業復活支援金給付事業	674,300
小口資金特別保証融資制度利子補給補助金追加	31,274
四大まつり開催事業(弘前城雪燈籠まつり)追加	1,800

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第19号)

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、小・中学校における感染拡大防止に必要な消耗品等に係る経費などを計上するほか、病院事業会計への補助金や国の補正予算に伴う道路補修事業などに係る経費の追加及び事業費の確定などに伴う減額、財源調整などの補正をするものです。

また、固定資産(土地)評価事業などに係る継続費、収納管理システム改修事業などに係る繰越明許費、病院事業出資金などに係る地方債の補正をするものです。

補正額 13億2609万9千円

主な補正内容	事業費(千円)
泉野多目的コミュニティ施設損失補償金	97
都市改造記念会館損失補償金	65
弘南鉄道運行継続支援金	9,800
学校等における感染症対策等支援事業	49,500

※1は、全額について県の補助金が財源となっています。

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第20号)

まん延防止等重点措置の期間延長に伴い、営業時間短縮等の要請に応じた市内飲食店等に対する協力金給付に係る経費のほか、今冬の降雪に伴う除排雪経費を追加するものです。

また、飲食店等営業時間短縮要請協力金給付事業に係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 14億4138万円

主な補正内容	事業費(千円)
飲食店等営業時間短縮要請協力金給付事業追加	1,191,380 ※1

●令和3年度弘前市一般会計補正予算(第21号)

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、公共施設サービス維持に係る指定管理料を追加するほか、福祉職員及び保育士等の処遇改善に係る経費を追加するものです。

また、保育士等処遇改善臨時特例実施円滑化事業などに係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 3億7292万4千円

主な補正内容	事業費(千円)
星と森のロマントピア指定管理料追加	12,871
れんが倉庫美術館等指定管理料追加	39,755

令和4年度当初予算審査

予算決算常任委員会での令和4年度各予算案に対する賛成・反対討論の要旨を以下に掲載します。

一般会計	788億2000万円	(前年度当初予算との比較 23億4000万円増、3.1%増)
特別会計	415億8419万5千円	(前年度当初予算との比較 8億2377万9千円増、2.0%増)

一般会計予算案に対する討論

○**反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・市の予算編成方針で国の骨太方針に触れているが市民を守るための予算が大事と考える
- ・市町村単位で担っている行政を、圏域単位で行う中心都市に弘前市になる必要はない

○**賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・市民生活に密着した取組を引き続き計上している
- ・出産・子育て・教育環境の整備、健康・医療・福祉の充実、農業・地域経済を支援するための取組が内容の拡充を含め確保された予算となっている

人事案件 27件

○人権擁護委員候補者の推薦について（1名）

たなかけいいち
田中慶一氏(再任)

○弘前市農業委員会の委員の任命について（26名）

さとうつよし
佐藤剛郎氏(再任)ほか25名

議員発議 1件

意見書

○ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議（案）

議員提出議案 1件

規則の改正

○弘前市議会会議規則の一部を改正する規則案
会議録の配布に関する見直しを行うため、
所要の改正をしようとするものです。

請願 1件

○新型コロナウイルス対策に影響されるスポーツ団体への支援に関する請願書 …… 採択

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は令和4年第1回定例会時の所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



越 明 男
(日本共産党)



市職員の給与について

問 1人当たりの実質賃金は1996年と2020年を比較して62万円減少しているが、市職員の20年間の平均給与の推移を問う。

答 市職員の一般行政職における各種手当を含めた平均給与月額推移は、平成14年度が、平均年齢41.3歳で40万5632円、平成23年度が、平均年齢42.8歳で35万7611円、令和3年度が、平均年齢41.2歳で34万2476円である。20年間の平均給与

が逡減している要因には、平成18年度の国の給与構造改革による、地域の民間賃金との格差を是正する給与の引下げ等が考えられる。

今後も、国・県の状況も踏まえ適切な給与制度の運用に努めていきたい。

〈その他の質問項目〉○核兵器禁止条約
○健康づくりのまちなか拠点整備事業
○歩きたくなるまちなか形成事業
○駅前広場・山道町樋の口町線街路整備事業



木 村 隆 洋
(創和会)



新型コロナウイルス感染症対策について

問 年明け以降、感染者が突出した要因について市の見解を問う。また、3回目のワクチン接種の進捗と今後の見通しは。

答 1月に感染者が急増した要因として年末年始の帰省時に県外から入り込み、友人・知人との会食等で基本的な感染防止対策の不足により感染し、さらに自宅や職場等に広がったものと推測される。
ワクチンの3回目の接種については、

2月までの接種対象者に占める2月28日現在の接種率は46.4%で、着実に接種が進んでいる。接種の加速化を図るため、個別接種に加え、毎週土曜日に鳴海病院において集団接種を行い、5月末には18歳以上のほとんどの希望者が、3回目の接種を終える見込みである。

今後も弘前市医師会及び市内の医療機関と連携し、安全・安心かつ円滑にワクチン接種を終えられるよう努めていく。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



石山 敬
(創和会)

農業の基盤整備について

問 市の取組について伺う。
答 担い手の減少や高齢化等が進む中で、良好な営農条件を備えた農業基盤を確保し有効利用するとともに、次世代への継承が求められている。基盤整備事業には一定の時間を要するため、今後は農業者からの整備要望を待つだけでなく、整備すべき地区や内容等を市からも積極的に提案するような取組もモデル的に展開し

ていきたい。市としては、引き続き農業協同組合や土地改良区等の関係機関と連携し、農業の生産基盤の強化に取り組む。
りんご園の改植について
問 省力樹形の導入について伺う。
答 当市のりんご産業維持のため、丸葉栽培、わい化栽培に加え、高密度栽培やV字ジョイント栽培等の省力樹形も後押しするため、国の改植事業に併せて支援するメニューを創設することとした。



福士 文敏
(創和会)

弘前城本丸石垣整備事業について

問 進捗状況と今後の計画は。
答 現在、施工中の北側石垣は計画の5分の2程度の高さまで積み上げられており、北側石垣における進捗率は令和3年度末で約50%を見込んでいる。
 また、天守及び天守台石垣の補強対策として、長さ約35メートルの鉄筋コンクリート製基礎杭4本を設置し、天守台石垣内部に格子状の合繊樹脂を敷設する。

今後、令和4年度で本丸石垣東面北側積み直し終了後、直ちに南側積み直しに着手し、令和6年度に石垣の積み直しはすべて完了する予定。また、天守本体の保存修理は令和4年度に基礎設計を行い、令和7年度の天守曳き戻し後、天守内部構造の耐震化に着手する計画である。
 〈その他の質問項目〉○市立小中学校、保育施設及び市職員の新型コロナウイルス感染状況と対応等について



佐藤 哲
(櫻鳴会)

市の財政状況について

問 市長就任後4年間の取組を踏まえた現在の市の財政状況を伺う。
答 就任後、地域と連携した除排雪、農業の強化、市民生活の改善、エアコンやトイレといった学校環境の改善などの課題解決に取り組んだ。新中核病院の整備は順調であり、新型コロナウイルス感染症の対応には市独自で100を超える事業を実施した。市の財政状況は、実質公債

費比率や将来負担比率が国の基準を大きく下回っており、自主財源である市税は、市税全体としては大きな減少がなかった。地方債の現在高は、平成29年度末の約896億円をピークに減少。見通しが難しい中で、健全性を維持しており、感染症の影響が収束することで、さらに改善するものと考えている。感染防止対策と経済対策の両面を見据え、市民のため、効率的・効果的な財政運営に努めていく。



尾崎 寿一
(創和会)

りんご作業の補助労働力不足対応

問 市職員の兼業によるりんご生産アルバイトの状況について伺う。
答 補助労働力確保対策の新たな取組として、昨年10月より市職員の兼業によるりんご生産アルバイトを開始し、令和3年度は、市職員32名が葉とりや収穫等の作業を行った。令和4年度は生産者からも要望のある摘果など春の作業からアルバイトができるよう、準備を進めている。

問 退職者等農業マッチング緊急支援事業の状況について伺う。
答 本事業は、退職等を余儀なくされた市民等を雇用した農業者に対し、1日の賃金の2分の1を、上限3千円で補助する取組であり、人手不足の解消が図られたほか雇用就農につながった実績も出てきていることから、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用できる期間は、事業を継続していく。



成田 大介
(無所属)

教育行政について

問 教職員の働き方改革の現状と取組は。
答 学校を取り巻く環境は近年複雑化・多様化しており、学校に求められる役割も拡大している。こうした中で教職員の勤務実態などから多忙化の状況が明らかとなり、負担軽減に向けた取組をさらに推進することが求められている。4月で時間外勤務時間が45時間を超えた当市の教職員の割合は、小学校で45.3%、中学

校で64.3%。引き続き勤務実態の把握に努めるとともに、部活動指導員や授業準備や成績処理等を補助するスクール・サポート・スタッフ等、教職員以外の人材の活用と長時間勤務に対する教職員の意識改革の両面から、働き方改革について指導・支援していく。
 〈その他の質問項目〉○コロナ禍における小中学校の対応 ○タブレット活用 ○いじめアンケート調査



石岡 千鶴子
(無所属)



岩木山登山道整備について

問 市の無断伐採を受け、植生の復元の意味から通行禁止にしている、弥生登山道から赤倉登山道へ迂回する登山道の「立ち入り禁止」の看板について、看板を下ろし登山者に開放すべきと考えるが市の考えを伺う。

答 今年の雪どけを待って、国や県の関係機関や岩木山環境保全協議会と現場確認を行い、検討する。

市の指定管理者制度について

問 指定管理者の安価な人件費がメリットだとする陰で、安すぎる賃金の是正を訴える声を市はどう受け止めているのか伺う。

答 利用者や指定管理者の声、また、弘前市指定管理者選定等審議会の委員から意見などを聞き、適正な制度運営を行うとともに、公共施設における市民サービスの向上に努めていく。



坂本 崇
(櫻鳴会)



今後の健康施策について

問 健康づくりのまちなか拠点について。

答 閉院する市立病院と、近接する旧第一大成小学校跡地を「健康づくりのまちなか拠点」として整備し健康寿命の延伸に取り組む。市立病院は総合保健センターの機能を軸に、健康・医療・福祉、多世代交流、多様な学びに資する機能を集約、旧第一大成小跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間として、日

常的な運動や健康イベント等を行う多目的の広場や憩いの広場等の機能を整備予定。

健康ビッグデータを用いた取組を進める弘前大学COI等の機関と連携して、利用しやすい立地を活かした取組を展開し、健康寿命の延伸と併せ中心市街地の活性化を図り、健康づくりの中心として期待される拠点の整備を進める。

〈その他の質問項目〉
○ユニークメニューの推進について



齋藤 豪
(櫻鳴会)



農業行政について

問 りんご園等改植事業の見直しは。

答 高密度栽培やV字ジョイント栽培などの省力樹形を初めて導入する生産者に対し、国の補助金の2分の1相当額を上乗せする市独自のメニューを創設した。県内の市町村では初の試みである。

問 りんご防除機械導入の支援は。

答 令和4年度から、りんご防除機械等導入事業の制度内容を拡充することとし

た。組合員全員が、収入保険又は果樹共済に加入している共同防除組合等の団体は、これまでどおり補助率20%、上限額が140万円であるが、保険未加入者を含む団体には、剪定の応援や農道除雪といった産地の保全と維持活動を条件に、補助率10%を20%へ、上限額70万円を100万円に引き上げることとした。

〈その他の質問項目〉
○地方創生
○農業行政(担い手の育成・確保)



野村 太郎
(創和会)



コロナ後の観光戦略について

問 市の考えを伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前より、国内外における旅行形態等が大きく変化してきていることから、これまでの観光戦略を再構築していく必要があると考えている。四大まつりについては、感染防止対策を徹底しながら、様々な世代に楽しんでもらえるよう内容の充実を図る。広域観光については、周

辺エリアと共に共通の観光テーマで連携し、地域一体でのブランド構築を目指す。インバウンドについては、台湾を中心に誘客に取り組む。今後は、国内外の観光ニーズに的確に訴求できるよう、豊富な観光資源を新たな視点で仕立て直し、伝統や文化の継承、歴史的資産や自然を守っていけるような取組を行うことにより、旅の目的地として選ばれる持続可能な観光都市、そして観光圏域を目指す。

令和4年第1回定例会日程 (28日間)

2月18日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	3月9日(水)～3月11日(金)	常任委員会	予算決算
2月19日(土)～3月1日(火)	議案熟考	3月14日(月)	常任委員会	予算決算
3月2日(水) 本会議	議会運営委員の選任	3月15日(火)～3月16日(水)	本会議	議事整理
	津軽広域連合議会議員の互選	3月17日(木)	本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
	一般質問			
3月3日(木)～3月4日(金)	一般質問			
3月7日(月) 本会議	一般質問、議案付託			
3月8日(火) 常任委員会	建設、総務、厚生、経済文教			



千葉 浩規
(日本共産党)



「医療情報」の提供について

問 医療情報提供契約の期間終了が迫る中での市の対応、「通知」や「拒否」の件数、市民からの要望等について答えよ。

答 次世代医療基盤法や医療情報提供に関し、さらなる周知を図った上で、契約期間である今年5月26日までに医療情報の提供を行いたい。申入れ書や質問書の提出は3件（令和3年7月28日と8月30日に弘前市民オンブズパーソン、10月1

日に中弘南黒社会保障推進協議会）。今年1月末時点での拒否件数は230件。J-MIMOへ提供予定の医療情報の件数は、平成27年度からの5年分、国保被保険者約5万人を対象とし、約3900万件。後期高齢者のレセプトデータ等は、見込みで、被保険者数約2万7400人を対象に、データ数は2100万件程度。

〈その他の質問項目〉○新型コロナ対策
○児童生徒の個人情報保護



外崎 勝康
(木揚公明)



デジタル化、グリーン化の推進について

問 マイナンバーカードの普及について。

答 市のマイナンバーカード交付率は1月末で36.6%。自治体の発行する各種証明書を、カードを利用しコンビニ等の端末から取得する交付サービス導入を慎重に検討しつつカードの普及促進に努める。

新型コロナウイルス感染症について

問 ワクチン接種できない方への対応。

答 健康上の理由で接種できない方の自

身の体調管理に役立ててもらうため、市内のPCR等検査体制の周知を図る。

子育て支援について

問 現状と課題について。

答 必要な情報が必要な世帯に届くよう、子育てに係る情報発信強化に努める。令和4年度から「子ども家庭総合支援拠点」機能を新たに設け、子育て世代包括支援センターと一体で関係機関と連携し子育てしやすいまちを目指す。



今泉 昌一
(さくら未来)



櫻田市長の政治姿勢について（4年間の総括）

問 この4年間、あまりに議会軽視の発言が目立った。例えば、令和元年第3回定例会で弘前市民会館の指定管理者案が否決されたときは「議会は企業ファーストを選んだ」と閉会後の挨拶で述べ、令和3年第2回定例会で監査委員人事案否決後の記者会見では「議会のいざこざに巻き込まれた」と発言した。二元代表制

における議会をどのように考えるのか。

答 二元代表制は、長と議会の議員がともに住民の直接選挙によって選出され、両者が対等の関係に立って、自主性・独立性を保ちつつ、相互の抑制と調和による地方自治の適正な運営が期待されるものであると認識している。議会は多くの市民の負託を受けた議員の合議体であり、議決は重く受け止めなければならないものと認識している。



工藤 光志
(木揚公明)



市長の政治姿勢について

問 幹線農道及び市管理の農道除雪を通常業務として実施すべきではないか。

答 りんごの品質と生産量を左右するりんご樹の剪定などの早期着手や、枝折れなどの雪害を防止するために、春先早々の農道除雪は非常に重要だと考えている。

現在、市道を含む農道の除雪については、旧岩木町、旧相馬村管内は道路維持課が直営で行い、旧弘前市管内は道路維

持課直営と農村整備課所管の民間委託の併用で実施している。

今冬は、1月7日設置の豪雪警戒本部で、例年2月下旬から実施している幹線農道の除雪を前倒しする方針が示され、1月27日と28日に旧相馬村管内の延長約9キロメートルの除雪作業を完了した。

その他の農道除雪路線についても、庁内各課が連携し、春先の農作業に支障を来さないよう農道の早期開通に努める。

今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	除	○	○	退	○	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●
○	○	○	○	○	●	●	○	○	-	●	●	○

令和4年第1回臨時会審議結果
 ※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。
 市長提出議案：3件 予算関係：3件

令和4年第1回定例会審議結果
 ※議会での慎重審議により、可決、同意となりました。
 市長提出議案：64件
 予算関係：17件、条例関係：13件、
 その他：34件
 議員発議：1件 議員提出議案：1件

新市議会議員を紹介します



としかわ あつこ
樋川 篤子①

さくら未来
小比内三丁目2-3



たけなみ あつし
竹浪 敦①

創和会
青女子字桜苺317

令和4年4月10日(日)に投票が行われた弘前市議会議員補欠選挙において樋川篤子氏、竹浪敦氏のお二人が当選いたしました。

記載内容は、氏名、それに続く○付き数字が当選回数、所属会派名、住所です。(4月13日現在)

なお、議員の任期は、令和5年4月30日までです。

蛸名正樹議員の辞職に伴い、委員等の選任、互選がありました。

○議会運営委員
福士文敏議員

○津軽広域連合議会議員
尾崎寿一議員

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより 編集特別委員会

- 1月31日(月) 市役所
①掲載内容について
- 3月17日(木) 市役所
①掲載内容について
②編集日程について

議員全員協議会

- 2月7日(月) 市役所
①一部事務組合等の予算案について
 - 令和4年度津軽広域連合一般会計予算案
 - 令和4年度弘前地区環境整備事務組会计予算案
 - 令和4年度弘前地区消防事務組会计予算案
 - 令和4年度津軽広域水道企業団津軽事業部水道用水供給事業会会计予算案

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。

※緊急時、災害時には変更される場合も有り。

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、TEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上に有ります。)

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和4年7月8日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和4年9月発行予定の第70号
【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

議会の傍聴 自粛のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りお控えくださるようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(議会の傍聴を希望される方を拒むものではありません。)

インターネット中継でご覧になれるほか、市役所 前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- (5月27日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 6月3日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 6月28日(火) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。